




氏名	
----	--

診療科名							
入院予定期間	<table border="1"> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> </table>	年	月	日	年	月	日
年	月	日					
年	月	日					

月日	/
経過	入院 1 日目（手術前日）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・病状について理解しましょう。 ・入院生活について理解しましょう。 ・手術について理解しましょう。 ・内服について理解しましょう。 ・転倒転落予防について理解しましょう。 
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・麻酔科を受診します。
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・お薬を内服されていた方は、お薬手帳と一緒にご提出ください。 ・入院後も継続する内服は医師が判断します。
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・身長、体重を測ります。 ・採血をします。 ・胸とお腹のレントゲンを撮影します。 
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の診察後、腹膜透析の管の位置を決め、しるしをつけます。 しるしの位置はご自身が見やすく、ズボンのウエストに当たらない位置になるよう、医師と相談しましょう。 ・お腹周りの不要な毛を切毛します。おへその掃除を行います。
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の尿量を測定するため、1 回ごと尿をカップに採って測定してください。 ・一日の便の回数を伺います。
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません。（医師の指示がある場合はその指示に従ってください）
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・病院食をお召し上がりください。タンパク質、塩分制限となっているため、病院食以外の食事は食べないでください。 ・入院中は飲水量を測ります。 ・21 時以降飲食できません。（手術時間により時間が変わることがあります） 
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません。 ・お腹の切毛や、おへその掃除を行ったあとでシャワーに入りましょう。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・手術の準備として、浴衣、バスタオル、T 字帯、腹帯をご用意ください。 ・医師から手術や入院中の予定について説明があります。 ・看護師から入院生活、手術前後の経過、転倒転落予防について説明があります。 ・看護師からお薬の飲み方の確認と説明をします。



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腹膜透析導入入院

患者さんパスシート（No.2）

氏名	
----	--

診療科名							
入院予定期間	<table border="1"> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> </table>	年	月	日	年	月	日
年	月	日					
年	月	日					

月日	/
経過	入院手術 2 日目（手術当日 手術前）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術について不明な点は医師、看護師に相談しましょう。 手術に必要な物品を確認しましょう。 
治療	<ul style="list-style-type: none"> 手術は（ ： ）からの予定です。 手術前に点滴の管を入れます。
薬	<ul style="list-style-type: none"> 内服は医師の指示に従って行います。 
検査	<ul style="list-style-type: none"> 朝8時までに体重を測ります。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 医師の診察後、腹膜透析の管の位置を決め、しるしをつけます。 しるしの位置はご自身が見やすく、ズボンのウエストに当たらない位置になるよう、医師と相談しましょう。 深部静脈血栓予防のために弾性ストッキングを履きます。 手術に呼ばれたら、点滴を始めます。
観察	<ul style="list-style-type: none"> 手術に呼ばれたら、血圧、脈拍、体温を測ります。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 一日の尿量を測定するため、1 回ごと尿をカップに採って測定してください。 一日の便の回数を伺います。 午前中に浣腸をします。 手術に呼ばれたら、病棟を出る前には必ず排尿を済ませてください。
活動	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。（医師の指示がある場合はその指示に従ってください）
食事	<ul style="list-style-type: none"> 食事はできません。 内服薬を飲むときのみ少量の水を飲むことはできます。 飲水量を測ります。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 前日にシャワー浴が出来ていない場合は、手術前までに入ってください。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 手術室に行くまでに、浴衣に着替え、弾性ストッキングを履きます。 手術に呼ばれたら、貴重品（指輪、時計、義歯、ネックレスなど）を外し、金庫で保管してください。金庫の鍵はご家族にお渡しするか、看護師がお預かりします。看護師と一緒に手術室へ向かいます。 ご家族の方は手術中の待機場所を看護師にお伝えください。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

日本医科大学付属病院 2025 年 12 月作成

氏名	
----	--

診療科名							
入院予定期間	<table border="1"> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> </table>	年	月	日	年	月	日
年	月	日					
年	月	日					

月日	/
経過	入院 2 日目（手術当日 手術後）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・手術後の安静を守りましょう。 ・傷口の痛みや吐き気などの症状がある場合は我慢せず医師や看護師に知らせましょう。 ・床ずれ予防のため、定期的に体の向きを変えましょう。 ・転倒転落予防について理解しましょう。
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みが強い時は痛み止めを使用します。
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・内服は医師の指示に従って行います。 ・点滴をします。 
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・お腹の傷口はガーゼ、透明のテープで保護し腹帯をします。 ・酸素投与を行います。（4～6時間程度） 
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・血圧、脈拍、体温を毎時間、お腹の傷口の状態を 1 時間おきに確認します。（4～6 時間程度）
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の管を入れて病室に戻ります。 ・排便は明日 9 時まで、便器を使用しベッド上で行います。
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・明日 9 時までベッドで安静になります。寝返りをうつことはできます。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・食事は出来ませんが、少量の水でお薬を飲むことは出来ます。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・明日 9 時、安静が解除されるまで、看護師が洗面のお手伝いをします。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・手術後はストレッチャーで病室に戻ります。 ・お腹の傷が痛む時や、吐き気などの症状がある時、寝返りが出来ない時などは看護師に知らせて下さい。 ・手術後、医師からご家族へ手術の経過の説明を行います。 ・転倒転落予防について説明します。




このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腹膜透析導入入院

患者さんパスシート（No.4）

氏名	
----	--

診療科名							
入院予定期間	<table border="1"> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> </table>	年	月	日	年	月	日
年	月	日					
年	月	日					

月日	／	
経過	入院3日目（手術後1日）	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症について理解しましょう。 ・腹膜透析に必要な物品を理解しましょう。 ・「つなぐ」の機械操作手順を理解しましょう。 ・お腹に痛みがある場合には看護師に知らせましょう。 ・転倒に気をつけながら、看護師と一緒に歩きましょう。 ・内服について理解しましょう。 	
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・10時/15時に腹膜透析（洗浄）を行います。（1回500mlをお腹に入れます） ・1日1回午前中に抗生物質の点滴を行います。 	
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・内服は医師の指示に従って行います。 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・朝9時に体重を測ります。 ・朝に採血をします。 ・腹部のレントゲン撮影をします。 	
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません 	
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・お腹の傷口を観察します。 	
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・午前中に尿の管を抜きます。 ・一日の尿量を測定するため、1回ごと尿をカップに採って測定してください。 ・一日の便の回数を伺います。（便秘は排液不良を招くことがあります） 	
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・朝9時より歩行が出来ます。痛みが強いようであれば車椅子を使用します。 ・手術後初めて歩行する時は、必ず看護師と一緒に歩きます。 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・7分粥をお召し上がりください。（間食はしないでください） ・飲水量を測ります。 	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワー浴は行えません。タオルで体拭き、洗髪台で洗髪を洗うことができます。 	
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙「腹膜透析に必要な知識・手技」①、②、③について説明します。 ・転倒転落予防について説明します。 ・看護師からお薬の飲み方の確認と説明をします。 	

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

日本医科大学付属病院 2025年12月作成

腹膜透析導入入院

患者さんパスシート（No.5）

氏名	
----	--

診療科名							
入院予定期間	<table border="1"> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> </table>	年	月	日	年	月	日
年	月	日					
年	月	日					

月日	/ ~ /
経過	入院 4～5 日目（手術後 2～3 日）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症について理解しましょう。 ・腹膜透析を実施するために必要な手技を理解しましょう。 ・お腹に痛みがある場合には看護師に知らせましょう。
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・10 時/15 時に腹膜透析（洗浄）を行います。（1 回 500ml をお腹に入れます） ・抗生物質の点滴を行います。
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・内服は医師の指示に従って行います。
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食前に体重を測ります。 ・手術後 3 日目の朝、採血をします。
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・お腹の傷口を観察します。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の尿量を測定するため、1 回ごと尿をカップに採って測定してください。 ・一日の便の回数を伺います。（便秘は排泄不良を招くことがあります）
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありませんが、腹部を過度にひねる運動は避けましょう。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・病院食をお召し上がりください。（間食はしないでください） ・飲水量を測ります。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワー浴は行えません。タオルで体拭き、洗面台で洗髪を洗うことができます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙「腹膜透析に必要な知識・手技」①、②、③について説明します。



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

日本医科大学付属病院 2025 年 12 月作成

腹膜透析導入入院

患者さんパスシート（No.6）

氏名	
----	--

診療科名							
入院予定期間	<table border="1"> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> </table>	年	月	日	年	月	日
年	月	日					
年	月	日					

月日	/
経過	入院 6 日目（手術後 4 日）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防を行いましょう。 ・腹膜透析を実施するために必要な手技を、看護師と一緒にいきましょう。 ・お腹に痛みがある場合には看護師に知らせましょう。 ・透析医療費のしくみにみついて理解しましょう。
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・10 時/15 時に腹膜透析（洗浄）を行います。（1 回 1 0 0 0 ml をお腹に入れます）
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・内服は医師の指示に従って行います。
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食前に体重を測ります。
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・お腹の傷口を観察します。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の尿量を測定するため、1 回ごと尿をカップに採って測定してください。 ・一日の便の回数を伺います。（便秘は排液不良を招くことがあります）
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありませんが、腹部を過度にひねる運動は避けましょう。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・病院食をお召し上がりください。（間食はしないでください） ・飲水量を測ります。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワー浴は行えません。タオルで体拭き、洗面台で洗髪を洗うことができます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙「腹膜透析に必要な知識・手技」①、②、③、⑪（2）社会保障制度について説明します。



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

日本医科大学付属病院 2025 年 12 月作成

腹膜透析導入入院

患者さんパスシート（No.7）

氏名	
----	--

診療科名	
入院予定期間	年 月 日 年 月 日

月日	/ ~ /
経過	入院 7～8 日目（手術後 5～6 日）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・腹膜透析を実施するために必要な手技を、看護師と一緒にいきましょう。 ・お腹に痛みがある場合には看護師に知らせましょう。 ・内服について理解しましょう。（入院 8 日目） ・転倒転落予防について理解しましょう。（入院 8 日目）
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・10 時/15 時に腹膜透析（洗浄）を行います。（1 回 1 0 0 0 ml をお腹に入れます。）
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・内服は医師の指示に従って行います。
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食前に体重を測ります。 ・手術後 6 日目の朝、採血をします。 ・胸部腹部のレントゲン撮影があります。
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・お腹の傷口を観察します。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の尿量を測定するため、1 回ごと尿をカップに採って測定してください。 ・一日の便の回数を伺います。（便秘は排泄不良を招くことがあります）
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありませんが、腹部を過度にひねる運動は避けましょう。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・病院食をお召し上がりください。（間食はしないでください） ・飲水量を測ります。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワー浴は行えません。タオルで体拭き、洗面台で洗髪を洗うことができます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙ページ「腹膜透析に必要な知識・手技」②、③について説明します。 ・転倒転落予防について説明します。（入院 8 日目） ・看護師からお薬の飲み方の確認と説明をします。（入院 8 日目）



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

日本医科大学付属病院 2025 年 12 月作成

氏名	
----	--

診療科名	
入院予定期間	年 月 日 年 月 日




月日	/
経過	入院 9 日目 (手術後 7 日)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事管理の必要性について理解しましょう。 ・ お腹に痛みがある場合には看護師に知らせましょう。 ・ 腹膜透析の一連の流れ、手技を理解し、看護師と一緒にいきましょう。 ・ 体重や血圧、排液の量、性状などを PD ノートに記載しましょう。
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・ 腹膜透析を行います。(お腹に液を溜めます) ・ 1 回 1 0 0 0 ml の注液と排液を 11 時/15 時/19 時に行います。 ・ 22 時は排液のみ行います。(注液の量や回数は、患者さん毎に異なることがあります。医師の指示通りに行いましょう)
薬	・ 内服は医師の指示に従って行います。
検査	・ 朝食前に体重を測ります。
処置	・ 特にありません。
観察	・ 傷口を観察します。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一日の尿量を測定するため、1 回ごと尿をカップに採って測定してください。 ・ 一日の便の回数を伺います。(便秘は排液不良を招くことがあります)
活動	・ 制限はありませんが、腹部を過度にひねる運動は避けましょう。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院食をお召し上がりください。(間食はしないでください) ・ 飲水量を測ります。
清潔	・ シャワー浴は行えません。タオルで体拭き、洗面台で洗髪を洗うことができます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別紙「腹膜透析に必要な知識・手技」③～⑥について説明します。 ・ 栄養士による栄養指導があります。(家族の方が食事を作られる場合は、家族の方の同席もお願いします。)



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

氏名	
----	--



診療科名	
入院予定期間	年 月 日 年 月 日

月日	/ ~ /
経過	入院 10~14 日目 (手術後 8~12 日)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 腹膜透析の一連の流れ、手技をご自身で行いましょう。 体重や血圧、排液の量、性状などを PD ノートに記載しましょう。 日常生活上での注意点を理解しましょう。 自宅で必要となる物品を理解し退院前に準備していきましょう。 
治療	<ul style="list-style-type: none"> 腹膜透析を行います。(お腹に液を溜めます) 1 回 1000ml の注液と排液を 11 時/15 時/19 時に行います。 22 時は排液のみ行います (注液の量や回数は、患者さん毎に異なることがあります。医師の指示通りに行いましょう)
薬	<ul style="list-style-type: none"> 内服は医師の指示に従って行います。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 朝食前に体重を測ります。 手術後 9 日目の朝、採血をします。 
処置	<ul style="list-style-type: none"> 特にありません。
観察	<ul style="list-style-type: none"> 看護師がお腹の傷口を観察します。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 一日の尿量を測定するため、1 回ごと尿をカップに採って測定してください。 便の回数を伺います。(便秘は排液不良を招くことがあります)
活動	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありませんが、腹部を過度にひねる運動は避けましょう。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 病院食をお召し上がりください。(間食はしないでください) 飲水量を測ります。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴は行えません。タオルで体拭き、洗面台で洗髪を洗うことができます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 別紙「腹膜透析に必要な知識・手技」③~⑦、⑪ (2) 自宅での必要物品について説明します。 血液浄化療法センターにて、自宅で腹膜透析に必要な物品の確認や退院後の外来受診について説明します。こちらのパスシートとお渡ししているパンフレット一式をお持ちください。 

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

氏名	
----	--

診療科名	
入院予定期間	年 月 日 年 月 日




月日	/
経過	入院 15 日目 (手術後 13 日)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・腹膜透析の一連の流れ、手技をご自身で行いましょう。 ・体重や血圧、排液の量、性状などをPD ノートに記載しましょう。 ・日常生活上での注意点を理解しましょう。 ・自宅で必要となる物品を理解し退院前に準備していきましょう。 ・内服について理解しましょう。 ・転倒転落予防について理解しましょう。 
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・腹膜透析を行います。(お腹に液を溜めます) ・1 回 1 5 0 0 ml を 11 時/15 時/19 時に行います。 ・22 時のみ排液行います。(注液の量や回数は、患者さん毎に異なることがあります。医師の指示通りに行いましょう)
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・内服は医師の指示に従って行います
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食前に体重を測ります。 ・朝に採血をします。 
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・お腹の傷口を観察します。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の尿量を測定するため、1 回ごと尿をカップに採って測定してください。 ・1 日の便の回数を伺います。(便秘は排液不良を招くことがあります)
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありませんが、腹部を過度にひねる運動は避けましょう。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・病院食をお召し上がりください。(間食はしないでください) ・飲水量を測ります。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワー浴は行えません。タオルで体拭き、洗面台で洗髪を洗うことができます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙「腹膜透析に必要な知識・手技」③～⑧、⑪ (2) 自宅での必要物品について説明します。 ・転倒転落予防について説明します。 ・看護師からお薬の飲み方の確認と説明をします。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

日本医科大学付属病院 2025 年 12 月作成

氏名	
----	--

診療科名							
入院予定期間	<table border="1"> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> </table>	年	月	日	年	月	日
年	月	日					
年	月	日					

月日	/
経過	入院 16 日目 (手術後 14 日)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・腹膜透析の一連の流れ、手技をご自身で行いましょう。 ・日常生活上でのケア方法を理解し、看護師と一緒に出口部の処置を行いましょう。 ・透析食について理解しましょう。 ・自宅で必要となる物品を理解し退院前に準備していきましょう。 
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・腹膜透析を行います。(お腹に液を溜めます) ・1 回 1500ml 注液と排液を 11 時/15 時/19 時に行います。 ・22 時は排液のみ行います。(注液の量や回数は、患者さん毎に異なることがあります。医師の指示通りに行いましょう)
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・内服は医師の指示に従って行います。
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食前に体重を測ります。
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・お腹の傷口の抜糸を行います。 ・看護師が出口部の洗浄を行います。 
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・お腹の傷口とカテーテル出口部の状態を観察します。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の尿量を測定するため、1 回ごと尿をカップに採って測定してください。 ・一日の便の回数を伺います。(便秘は排液不良を招くことがあります)
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありませんが、腹部を過度にひねる運動は避けましょう。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・病院食をお召し上がりください。(間食はしないでください) ・飲水量を測ります。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワー浴は行えません。タオルで体拭き、洗面台で洗髪を洗うことができます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙「腹膜透析に必要な知識・手技」③～⑧、⑪(2) 自宅での必要物品について説明します。 ・「出口部とカテーテルの管理方法」について説明します ・栄養士による栄養指導があります。(家族の方が食事を作られる場合は患者様だけでなく家族の方の同席もお願いします) 

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

日本医科大学付属病院 2025 年 12 月作成

氏名	
----	--

診療科名	
入院予定期間	年 月 日 年 月 日

月日	/ ~ /
経過	入院 17~18 日目 (手術後 15~16 日)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 腹膜透析の一連の流れ、手技をご自身で行いましょう。 カテーテルの管理方法と理解し、看護師と一緒に出口部の洗浄と処置を行いましょう。 自宅で必要となる物品を理解し退院前に準備していきましょう。
治療	<ul style="list-style-type: none"> 腹膜透析を行います。(お腹に液を溜めます) 1 回 1500ml 注液と排液を 11 時/15 時/19 時に行います。 22 時は排液のみ行います。(注液の量や回数は患者さん毎に異なることがあります。医師の指示通りに行いましょう)
薬	<ul style="list-style-type: none"> 内服は医師の指示に従って行います。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 朝食前に体重を測ります。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 看護師と一緒に出口部の洗浄を行います。(医師の指示が無ければ出口部の消毒は不要です)
観察	<ul style="list-style-type: none"> お腹の傷口の状態を観察します。 看護師と一緒に出口部の観察を行いましょう。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 一日の尿量を測定するため、1 回ごと尿をカップに採って測定してください。 一日の便の回数を伺います。(便秘は排液不良を招くことがあります)
活動	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありませんが、腹部を過度にひねる運動は避けましょう。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 病院食をお召し上がりください。(間食はしないでください) 飲水量を測ります
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 出口部を入浴パウチで保護してシャワー浴を行います。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 別紙「腹膜透析に必要な知識・手技」③~⑨、⑪ (2) 自宅での必要物品について説明します。



氏名	
----	--

診療科名							
入院予定期間	<table border="1"> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> </table>	年	月	日	年	月	日
年	月	日					
年	月	日					

月日	/
経過	入院 19 日目（手術後 17 日）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 腹膜透析の一連の流れ、手技をご自身で行いましょう。 ・ 自宅でのカテーテルの管理方法を理解し、ご自身で出口部の洗浄と処置を行いましょう。 ・ 自宅が必要となる物品を理解し、退院前に準備していきましょう。 ・ 緊急時の対処方法について理解しましょう。
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・ 腹膜透析を行います。（お腹に液を溜めます） ・ 1 回 1500ml 注液と排液を 11 時/15 時/19 時に行います。 ・ 22 時は排液のみ行います。（注液の量や回数は患者さん毎に異なることがあります。医師の指示通りに行いましょう）
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内服は医師の指示に従って行います。
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝食前に体重を測ります。 ・ 朝に採血をします。
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご自身で出口部の洗浄を行います。（医師の指示が無ければ出口部の消毒は不要です）
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・ お腹の傷口の状態を観察します。 ・ 看護師と一緒に出口部の観察を行いましょう。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一日の尿量を測定するため、1 回ごと尿をカップに採って測定してください。 ・ 一日の便の回数を伺います。（便秘は排液不良を招くことがあります）
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制限はありませんが、腹部を過度にひねる運動は避けましょう。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院食をお召し上がりください。（間食はしないでください） ・ 飲水量を測ります
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出口部を入浴パウチで保護してシャワー浴を行います。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別紙「腹膜透析に必要な知識・手技」③～⑩、⑪（２）自宅での必要物品について説明します。 ・ 試験外泊にむけて、調整と外泊時の説明を行っていきます。



氏名		診療科名			
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	／				
経過	入院20日目（手術後18日）				
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・腹膜透析の一連の流れ、手技をご自身で行いましょう。 ・自宅でのカテーテルの管理方法を理解し、ご自身で出口部の洗浄と処置を行いましょう。 ・緊急時の対処方法について理解しましょう。 ・腹膜透析外来の通院の流れを理解しましょう。 				
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・腹膜透析を行います。（お腹に液を溜めます） ・1回1500ml注液と排液を11時/15時/19時に行います。 ・22時は排液のみ行います。（注液の量や回数は患者さん毎に異なることがあります。医師の指示通りに行いましょう） 				
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・内服は医師の指示に従って行います。 				
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食前に体重を測ります。 				
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・ご自身で出口部の洗浄をします。（医師の指示が無ければ出口部の消毒は不要です） 				
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・お腹の傷口を観察します。 ・ご自身で出口部の観察をしましょう。 				
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の尿量を測定するため、1回ごと尿をカップに採って測定してください。 ・一日の便の回数を伺います。（便秘は排液不良を招くことがあります） 				
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありませんが、腹部を過度にひねる運動は避けましょう。 				
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・病院食をお召し上がりください。（間食はしないでください） ・飲水量を測ります。 				
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・出口部を入浴パウチで保護してシャワー浴を行います。 				
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙「腹膜透析に必要な知識・手技」③～⑫について説明します。 ・血液浄化療法センターにて、カテーテルの管理方法や防災について説明をします。こちらのパスシートとお渡ししているパンフレット一式をお持ちください。 				



氏名	
----	--

診療科名	
入院予定期間	年 月 日 年 月 日

月日	/
経過	入院 21 日目 (手術後 19 日)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 腹膜透析の一連の流れ、手技をご自身で行いましょう。 自宅でのカテーテルの管理方法を理解し、ご自身で出口部の洗浄と処置を行いましょう。 緊急時の対処方法について理解しましょう。
治療	<ul style="list-style-type: none"> 腹膜透析を行います。(お腹に液を溜めます) 1 回 1500ml 注液と排液を 11 時/15 時/19 時に行います。 22 時は排液のみ行います。(注液の量や回数は患者さん毎に異なることがあります。医師の指示通りに行いましょう)
薬	<ul style="list-style-type: none"> 内服は医師の指示に従って行います。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 朝食前に体重を測ります。
処置	<ul style="list-style-type: none"> ご自身で出口部の洗浄をします。(医師の指示が無ければ出口部の消毒は不要です)
観察	<ul style="list-style-type: none"> お腹の傷口を観察します。 ご自身で出口部を観察しましょう。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 一日の尿量を測定するため、1 回ごと尿をカップに採って測定してください。 一日の便の回数を伺います。(便秘は排液不良を招くことがあります)
活動	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありませんが、腹部を過度にひねる運動は避けましょう。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 病院食をお召し上がりください。(間食はしないでください) 飲水量を測ります。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 出口部を入浴パウチで保護してシャワー浴を行います。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 別紙「腹膜透析に必要な知識・手技」③～⑩について説明します。



氏名	
----	--

診療科名							
入院予定期間	<table border="1"> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> </table>	年	月	日	年	月	日
年	月	日					
年	月	日					

月日	/
経過	入院 22 日目（手術後 20 日）
達成目標	・ 退院後の生活や注意点について理解しましょう。
治療	・ 退院時間を考慮し、必要時腹膜透析を行います。
薬	・ 内服は医師の指示に従って行います。
検査	・ 朝食前に体重を測ります。
処置	・ 特にありません。
観察	・ 特にありません。
排泄	・ 退院後も一日の尿量を測定するため、1 回ごと尿をカップに採って測定してください。
活動	・ 制限はありませんが、腹部を過度にひねる運動は避けましょう。
食事	・ 病院食をお召し上がり下さい。
清潔	・ 自宅でも出口部を入浴パウチで保護してシャワー浴を行って下さい。（入浴は、医師の指示がでるまで行わないでください。）
説明指導	<p>・ 体調不良や出口部トラブルなど、診察が必要か迷った時は、次回の外来受診を待たずご連絡下さい。電話にて腎臓内科かかりつけであること、腹膜透析を行っていることをお伝え下さい。</p> <p>・ 機械トラブルはバクスターのコールセンターへご連絡ください。祝日や夜間でも対応してくれます。</p> <p>・ 薬剤師より現在飲んでいる薬について説明します。</p> <p>・ 退院後の外来診察日について説明します。</p> <p>・ 保険などの書類は退院日に、外来中央受付 A に提出してください。（ただし文書受付窓口は日曜。祝日は受付できません）</p>



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

外来腹膜透析のご案内

来院から帰宅まで流れ

① 再来受付機



診察券を入れて下さい。受付票が発行されます。

② 検査を実施



受付票に記載されている検査を実施してください。
主に採血（本館2階）とレントゲン（本館地下1階）です。
先に採血をおすすめ下さい。（※1）

③ 本館5階血液浄化療法センター



「血液浄化療法センター」の入り口左側にある「透析室専用呼び出しボタン」を押して透析室看護師が迎えに来るまでお待ち下さい。
検温を行い、体調などを伺います。

④ 問診票記入



ご案内後、問診票をお渡しします。
呼ばれるまでその場でお待ち下さい。

⑤ 医師による診察・看護師による出口部洗浄



処方箋、次回診察の予約票、ガーゼと固定用テープをお渡しします。

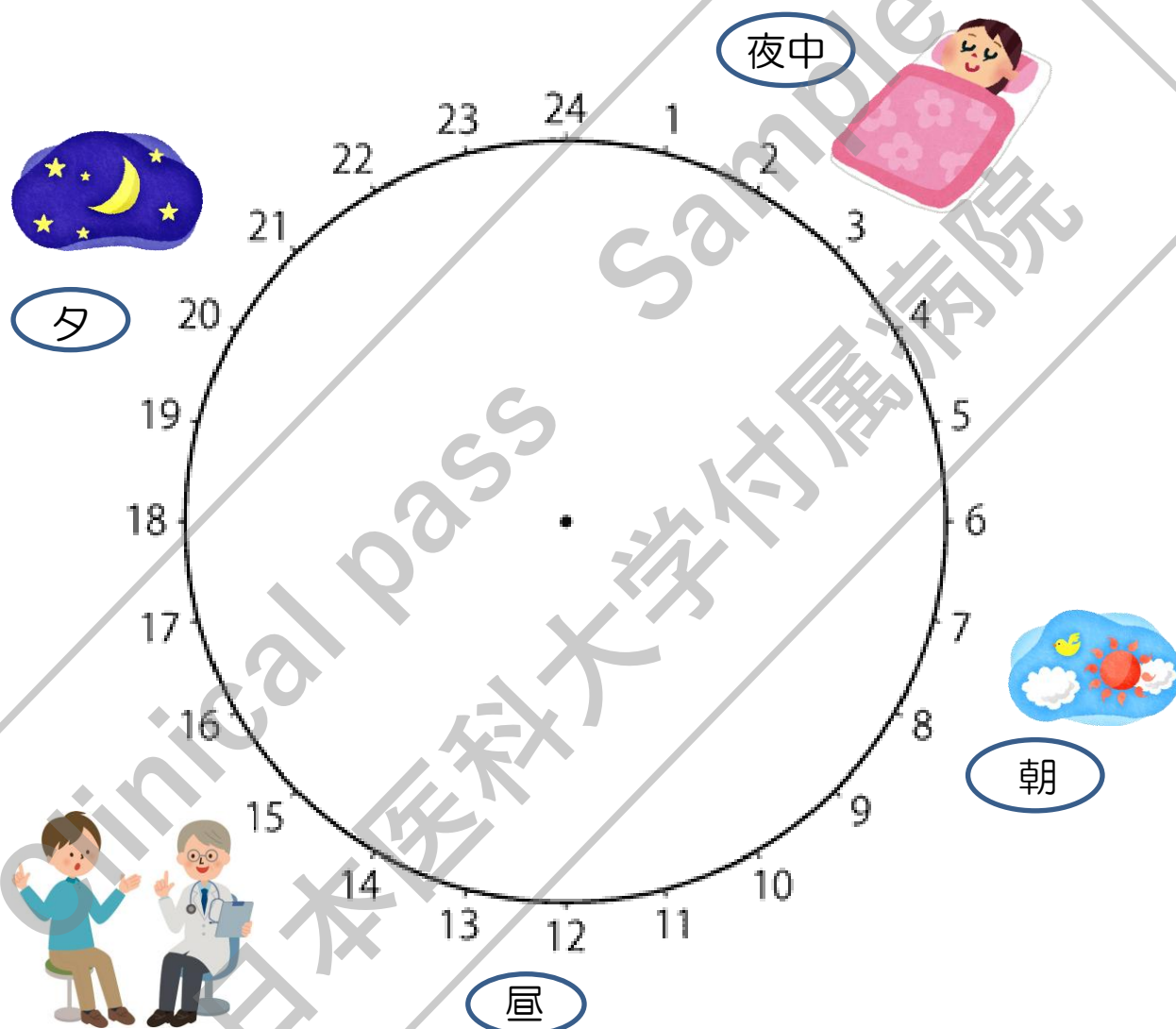
⑥ お会計

16時まで⇒本館2階Dブロック、16時以降⇒本館1階Aブロック

- ・ **PDノート**をお持ち下さい。
- ・ 退院後しばらくの間、2週間に1回の診察になります。
- ・ 検査は基本、月1回です。
検査がない場合は予約時間に血液浄化療法センターへお越しください。
- ・ （※1）採血結果が出てからの診察となります。採血検査がある場合は予約時間の1時間程前に来院し、検査をお済ませください。

外来通院時の腹膜透析スケジュール

- CAPD の方は外来通院時のスケジュールをイメージしてみましょう。
移動時間、診察時間を考慮し、透析液の交換時間を記入してみましょう。
- APD の方も透析時間を確認しましょう。



MEMO

退院後の生活の注意点

退院後も感染予防に気をつけながら安全な腹膜透析を行いましょう。

1.食事



食べてはいけないものはありませんが、量に注意する必要があります。
塩分・水分・たんぱく質・カリウム・リンの摂り方に気をつけましょう。

2.透析治療と体調管理

PD ノートに毎日記録しましょう。



透析記録をはじめ、血圧、体重、尿量、飲水量は、透析治療を管理する上でとても大切です。毎日測定しましょう。日々の経過を見て医師が透析メニューやお薬を変更したりします。また、血圧、体重は可能であれば毎日同じ時刻、同じような重さの服装で測定しましょう。

3.感染予防

- 透析液や機械の保管場所、透析を行う環境は清潔にしましょう。
- 治療の開始時、終了時などカテーテルやカテーテルの出口部に触れるときは、手を洗ってから行いましょう。
- カテーテルの出口部は毎日洗浄し、清潔にしましょう。また、出口部の観察を行い異常がないか観察しましょう。

• PD キャップの使いまわしは絶対にしないでください。



腹膜透析に必要な知識・手技

下記のパンフレットと「つなぐ」本体の操作ガイドを使用して進めていきます。

「PD を始めるあなたへ」

「PD 感染症予防ガイド」

「つなぐ レギュニール ご使用の手引き」

「つなぐ ご使用の手引き 排液バッグ操作手順」

「腹膜透析カテーテルの管理方法」

「災害対策マニュアル」

	目次	パンフレット	ページ数
①	感染症について	「PD を始めるあなたへ」 「PD 感染症予防ガイド」	P10、 P11 P6～P11
②	バッグ交換準備 必要物品	「つなぐ レギュニールご使用の手引き」	P5～P12
③	「つなぐ」の操作手順 腹膜透析実施手順	つなぐ本体のツインバッグ操作ガイド 「つなぐ レギュニールご使用の手引き」	P13～P42
④	排液操作手順	つなぐ本体の排液操作ガイド 「つなぐ ご使用の手引き 排液バッグ操作手順」	
⑤	排液の観察	「PD を始めるあなたへ」	P21
⑥	CAPD 記録ノートの 記入方法	「PD を始めるあなたへ」	P14、 P15
⑦	日常生活の注意点	「PD を始めるあなたへ」	P26、 P27
⑧	排液の処理と ゴミの処理方法	「PD を始めるあなたへ」	P13
⑨	出口部のケアと 入浴カバー使用方法	「腹膜透析カテーテルの管理方法」 「PD を始めるあなたへ」	P17
⑩	緊急時の対処方法	「PD を始めるあなたへ」	P28～P31
⑪	退院前準備	「PD を始めるあなたへ」 (1) 退院後のスケジュール (2) 自宅での必要物品、社会保障制度	P32 P33
⑫	災害対策	災害対策マニュアル	

※緊急時や災害時は必ず PD ノート、お薬手帳を持参してください。